

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	01 計画的な土地利用を進める		

<b>基本方針</b>	適切な都市機能の確保を図るため、地域特性に応じた適正で計画的な土地利用を進めます。
-------------	---

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用や都市機能の適切な誘導を図るため、庁内の検討会を開催し、都市計画マスタープラン(素案)を策定することができた。</li> <li>・都市計画基礎調査を計画的に実施し、土地利用の動向を的確に把握することができた。</li> <li>・線引き見直しや高度地区の見直しの都市計画手続きを計画的に進め都市計画変更をすることができた。</li> <li>・磐東地区まちづくり協議会の地区まちづくり計画の策定を支援し、特別指定区域を指定することができた。</li> <li>・開発許可等の事務において、審査期間短縮のため、関係課への協議書の迅速配布、回答書のとりまとめの簡素化、進捗状況管理表による進捗管理を実施した。</li> </ul> <p>また、社会経済状況の変化に即時に対応すべく、審査基準の改正を行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
田園まちづくり制度による特別指定区域指定地区数	地区	7 (平成21年度)	35 (平成27年度)	26
工場や高層建築物の秩序だった配置に関して満足している市民の割合	%	43.6 (平成20年度)	36.2 (平成26年度)	49

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	02 秩序あるまちなみを形成する		

<b>基本方針</b>	多様な手法により住民主体のまちづくりを進め、地域特性を生かした秩序ある都市環境とまちなみの形成をめざします。
-------------	--

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都台地区において、地区計画の策定を支援し、地元案を策定することができた。</li> <li>・加古川市景観まちづくり条例に基づき、大規模建築物等の届出事務等を遂行するとともに、兵庫県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可事務等を遂行し、良好な街なみ景観の形成を図った。また、第4回景観まちづくり表彰を実施し、市民に対し景観まちづくりの啓発を図った。</li> <li>・市内6カ所の美しい街づくり花壇の維持管理と、公共空地6カ所において市民ボランティアによる緑化活動支援を行い、協働による美しい街づくりを推進した。</li> <li>・志方地区については、地域特性に応じた柔軟な土地区画整理事業の施行を支援するため、関係機関と精力的に協議を行った。組合設立に向け、今後も引き続き協議を行っていく。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
秩序あるまちづくりに関連するルールを策定した地区数	地区	16 (平成21年度)	18 (平成27年度)	19
違反広告物の簡易除去件数(1回あたりの平均)	件	35 (平成21年度)	17 (平成27年度)	10
景観やまちなみの美しさに関して満足している市民の割合	%	43.2 (平成20年度)	41.4 (平成26年度)	51

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	03 都市拠点の機能を充実する		

<b>基本方針</b>	加古川駅周辺地区および東加古川駅周辺地区、別府駅周辺地区については、本市の都心および副都心にふさわしい地区として、商業、教育、文化、住居など多様な都市機能の誘導・集積を図ります。また、地域拠点については、各地域の特性を踏まえながら、ふさわしい機能の確保に向けた取り組みを進めます。
-------------	--

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>企画部の主導の下、加古川市民センターは近隣の商業施設内に移転の方向で協議が進んでいる。正式な移転時期は不明であるが、概ね平成28年秋ごろの予定。</p>	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>JR加古川駅東側の駐輪過剰状態解消に向け、新無料駐輪場の設置および現溝之口駐輪場有料化実施について平成28年度に実現することとなった。</p> <p>また、放置自転車対策事業がPR等で市民に浸透してきており、放置自転車台数が減少となり目標値2,000台を下回った。</p>	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺家町周辺地区防災街区整備事業は、建築躯体工事が完了し、仕上げ、設備工事については当初の予定通り約40%が完了した。</li> <li>・厄神駅周辺道路整備事業については、国包37号線道路整備工事(第1工区)を先行実施した。</li> <li>・宝殿駅附近都市整備事業については、高砂市と協議を行った。</li> <li>・加古川駅北土地区画整理事業については、都市計画道路溝之口線(幅員20m、延長170m)の供用開始により、事業における道路整備率が約97%になった。</li> <li>・加古川駅前土地区画整理事業については、平成27年6月26日に換地処分公告を行い事業が完了した。平成32年度まで清算金徴収事務(分割納入者)を行っていく。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	%	50.6 (平成20年度)	38.1 (平成26年度)	54

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	04 交通・港湾機能を充実する		

<b>基本方針</b>	国、県など関係機関と連携しつつ、市域内から広域へつながる円滑な交通の実現を図るとともに、経済面での需要創出や生産力の増強など道路整備の波及効果が最大限発揮されるよう、効果的な幹線道路ネットワークの形成をめざします。また、東播磨港においては、海上物流機能を支える基盤の強化を促進します。
-------------	--

### 地域振興部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
港湾機能充実の一環として設置された海洋文化センターを適切に管理運営し、海洋文化に触れる機会と地域の交流促進が図られた。	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>●幹線道路の整備 都市計画道路尾上小野線、加古川別府港線、中津水足線等の用地取得を進め、都心部の渋滞緩和に寄与する幹線道路整備に向けて着実な事業進捗を図った。</p> <p>●港湾交流機能の充実 ・東播磨港振興協会を通じて、県に対して耐震護岸の整備や防波堤の強化の整備促進を要望した。また、東播磨港の利用促進のためにパンフレットを作成し、関係機関や会員へ配布した。 ・クリーンキャンペーン(リフレッシュ瀬戸内)を実施し、約220名の市民に参加いただいた。</p>	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
地域の将来像や交通環境の変化及び将来における交通需要等を総合的に勘案した幹線道路ネットワークの形成のため、長期に渡って未整備となっている都市計画道路の見直し作業を兵庫県作成『都市計画道路見直しガイドライン』に基づき実施し、4路線(加古川駅南線、間形坂元線、南備後稲屋線、樋之口線)の廃止もしくは一部廃止を実施した。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市北部地域から市役所周辺までの所要時間(県立加古川医療センター～市役所周辺)	分	22 (平成19年度)	12 (平成26年度)	16
幹線道路の整備に関して満足している市民の割合	%	44.4 (平成20年度)	47.1 (平成26年度)	52

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	01 機能的・効率的なまちを形成する
<b>施策</b>	05 公共交通機能を充実する		

<b>基本方針</b>	高齢社会の到来や環境問題などの社会情勢の変化を踏まえながら、地域にふさわしい交通機能の充実を図り、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立をめざします。
-------------	---

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「B 概ね期待どおり」
<p>神姫バス西牧線廃止に伴う代替交通として、かこタクシーを志方中心部まで延伸するルートの見直しを行い、利便性を向上させた。その結果、平日3便、土曜4便の減便を行ったにも関わらず、利用者が増加傾向にあり、効果的な取り組みであったと評価している。</p> <p>また、平成27年10月より、かこバス・かこタクシー停留所においてネーミングライツ制度を開始した。年間103万8千円(かこバス8停留所、かこタクシー7停留所)の収入を確保し、安定した運営に貢献できたものと評価している。</p> <p>地域公共交通プランについては、平成27年度、協議会を5回開催し、関係者が活発な議論を交わし、プランの基本方針を取りまとめた。今後の本市の公共交通施策を推進していくうえで、重要な方針をまとめることができたと評価している。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
コミュニティ交通の利用者数	人	597,487 (平成21年度)	664,334 (平成27年度)	610,000
鉄道の利便さに関して満足している市民の割合	%	63.6 (平成20年度)	61.3 (平成26年度)	67
バスの利便さに関して満足している市民の割合	%	33.7 (平成20年度)	33.7 (平成26年度)	41

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	01 防災・防犯のための基盤を整備する		

<b>基本方針</b>	災害に強い都市基盤の整備や犯罪防止、交通安全に寄与する施設環境の整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進します。
-------------	--

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>防犯灯及び交通安全施設の設置については、各地域からの要望等について対応することができた。河川及び排水路の整備・維持管理については、適切に実施しており、総合治水対策についても、各部局が定めた目標を着実に実施されている。</p> <p>また、法華山谷川流域減災対策事業については、輪中堤整備工事は6月末には完了しており、計画的な事業推進が図られている。</p> <p>通学路の安全確保のため、加古川市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検を実施し、現状の把握を行ったうえで、緊急に対処が必要な箇所については路肩カラー化等の対応ができた。</p> <p>しかし、設置基準に該当しない通学路についても地元等からの要望が寄せられると考え、今後も条件の緩和等の検討を継続する必要がある。</p>	

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅地耐震化推進事業については、大規模盛土造成地(29カ所)のうち、崩壊時に住民や住宅の被害が大きいと思われる箇所について、地下水位・盛土状況を現地調査した。その結果、対策が急がれる場所を絞り込むことが出来た。</li> <li>・簡易耐震診断推進事業及び住宅耐震改修促進助成事業については、住宅耐震化に関するリーフレットを全戸回覧し、耐震化の必要性を訴える出前講座を実施するなどし啓発に努め、耐震化を推進した。</li> <li>・大規模建築物耐震診断等助成事業については、対象施設の所有者に対して、耐震診断の実施を促すとともに、改修工事等について協議を進めた。</li> <li>・空き家等対策支援については、老朽危険空き家等対策事業の28年度実施に向け、準備を行った。</li> </ul>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
民間住宅の耐震化率	%	70.0 (平成18年度)	81.1 (平成27年度)	90
防犯灯設置件数	件	17,558(昭和39年度～平成21年度の累計)	18,315(昭和39年度～平成27年度の累計)	18,000(昭和39年度～平成27年度の累計)
地域の防災体制に関して満足している市民の割合	%	45.8 (平成20年度)	41.7 (平成26年度)	53

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	02 生活に身近な道路を整備する		

<b>基本 方針</b>	地域内道路の計画的・効果的な新設や改良、適切な維持管理に努め、安全で快適な地域交通の確保をめざします。
------------------	---

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>主要駅前広場等を利用者の通行の安全と市の玄関口として快適な空間に保つことができた。</p> <p>市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の新設や拡幅整備、道路改良、踏切拡幅などを計画的・効果的に実施することにより、危険個所の改善が図られた。しかし、地元町内会からの拡幅要望は多数あり、更なる安全性の向上が必要と考える。</p> <p>道路補修については路面性状調査の結果に基づく舗装補修計画に基づき、また、橋梁補修については点検結果に基づいた長寿命化修繕計画の策定により、適切に維持管理を行った。</p> <p>しかし、道路の損傷路線の増加および橋梁の老朽化が進むことは確実であるため、今後も計画的な予防修繕を継続する必要がある。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
緊急対策が必要な踏切のうち歩道設置などの構造改良を実施した箇所数	箇所	5(平成20～22年度の累計)	7(平成20～26年度の累計)	10(平成20～27年度の累計)
地域内の道路の安全性や便利さに関して満足している市民の割合	%	32.3 (平成20年度)	36.3 (平成26年度)	40

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	03 良質な住宅供給を促進する		

<b>基本 方針</b>	安全・安心な居住環境の形成と住宅セーフティネットの構築を進めるため、既存の住宅ストックの活用を図るとともに、多様なニーズに対応した良質な住宅の供給などを促進します。
------------------	--

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>市営住宅について、加古川市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な維持補修を行い、平成27年度の目標を達成した。東神吉住宅51戸及び投松第2住宅8戸について、下水道接続工事を完了した。神野南山住宅8棟、230戸について、耐震診断を実施し、診断の結果、建物の耐震安全性を確認した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
長期優良住宅認定件数	件	320 (平成21年度)	3,235(平成21～27 年度の累計)	2,800 (平成21～27年 度の累計)
住宅相談利用件数	件	90(平成17～21 年度の累計)	106(平成17～27 年度の累計)	200(平成17～ 27年度の累計)

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	04 水と緑の空間を形成する		

<b>基本方針</b>	良好な水辺空間の創出と質の高い公園・緑地などの整備による水と緑の空間の形成をめざします。また、将来の需要や市民ニーズに対応した公園墓地などの整備・運営に努めます。
-------------	---

### 市民部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>・斎場管理運営事業では、平成25年度で1回目の指定管理期間が終了し、平成26年度から平成30年度までの指定管理期間についても引き続き同じ業者を指定しており、適切な管理運営が実施されている。</p> <p>・斎場維持補修事業では、火葬炉の全面積替え等の大規模修繕は、平成22年度から25年度で行った。平成27年度は大規模修繕はなく、付属設備の修繕を行った。</p> <p>・霊柩車運行業務助成事業は、受益者負担の観点から事業廃止に向け、関係事業者、斎場地元町内会等と協議調整を行い、平成28年6月末で廃止することを決定した。</p>	

### 建設部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> ： 「B 概ね期待どおり」
<p>公園維持管理事業では、計画的な剪定・草刈等の委託により、概ね適正な管理ができています。今後、光熱水費等の維持管理コストの増加が考えられることから、照明器具のLED化(リース)実施により、コスト節減を実現する。</p> <p>権現総合公園整備事業では、現況測量を実施し、今後の民間活力導入の可能性を検討する基礎資料とする。</p> <p>合葬式墓地整備事業においては、工事に着手し平成28年秋の完成供用開始に向け、2カ年の工期で事業実施中であり、運用面においても、条例・規則の改正を完了し、28年10月の施行に合わせ着実に準備を進めてきている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
花とみどりのまちづくりリーダー養成講座卒業生数	人	268(平成14～21年度の累計)	388(平成14～26年度の累計)	500(平成14～27年度の累計)
公園・緑地や水辺の整備に関して満足している市民の割合	%	49.6 (平成20年度)	46.6 (平成26年度)	55

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	06 雨水・汚水を適切に処理する		

<b>基本 方針</b>	下水道の計画的な整備や維持管理を進めるとともに、合併処理浄化槽の設置を促進し、快適な生活環境と安全・安心な暮らしの実現をめざします。
------------------	--

### 都市計画部

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況</b> : 「A 期待どおり」
<p>公費で負担すべき雨水処理及び汚水処理費について、公営企業への繰出し基準に基づき支出を行うと共に、政策的に一般会計が負担すべき経費については補助金を交付することにより、一般会計からの適正な支出のもと、下水道事業会計の安定的な経営に寄与した。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
下水道処理人口普及率	%	87.1 (平成21年度)	90.5 (平成27年度)	88.6
下水道雨水対策整備率	%	41.3 (平成21年度)	43.5 (平成27年度)	45
下水道の整備に関して満足している市民の割合	%	55.8 (平成20年度)	61.4 (平成26年度)	61

## 加古川市施策評価シート＜平成27年度実施分＞

<b>基本 目標</b>	05 快適に暮らせるまちをめざして	<b>政策</b>	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
<b>施策</b>	07 地域の情報化を推進する		

<b>基本 方針</b>	多様化する高度情報化社会に対応するため、情報通信基盤の整備や有効活用を促進し、市民のだれもが情報格差なく生活できる高度情報社会の形成をめざします。
------------------	---

### 秘書室

<b>【施策評価】</b>	<b>進捗状況： 「B 概ね期待どおり」</b>
<p>一斉同報手段の一つである防災ネットの周知・啓発を様々な広報媒体やイベントを通じて行った。登録者は年々増加しているが増加率も鈍くなってきていることから、さらに利用を促進するための周知や啓発に努める。また、ツイッターやフェイスブックの利用者も増えており、ソーシャルネットワークを活用した情報伝達の充実に努めた。市のホームページについてはアクセス数が減少していることから、ホームページによる積極的な情報発信に努めるとともに継続的な分類構成の見直しやコンテンツの整理などを行う。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総合計画策定時	現状	目標値(H27)
市ホームページアクセス件数	件	735,022 (平成21年度)	626,363件 (平成27年度)	1,300,000
防災・生活情報ネットワーク登録件数	件	29,897 (平成17～21年 度の累計)	20,610件 (平成27年度)	61,400 (平成17～27年 度の累計)